



藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切に作る生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和8年4月8日 校長 竹田 聡

〈令和8年度のはじめにあたり〉

陽春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、お子様の入学・進級おめでとうございます。

私事ですが藤中学校長5年目、教員生活40年目の節目の1年になります。これまでの経験を踏まえ、藤中のよさを大切にしたい学校経営に取り組んでまいりますので、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

〈令和8年度 入学式・第1学期始業式〉

校長式辞(抄)

桜の花が咲き誇るよき日に、ご来賓の皆様、新入生のご家族の皆様をお迎えし、第48回入学式を挙げてまいりますこと大きな喜びを感じております。167名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。今日から3年間、約1000日の中学校生活が始まります。藤中学校の学校教育目標は、「ともに学び 未来を拓く たくましい生徒の育成」です。これは、校歌を参考に設定しました。藤中学校は2年後の新入生の皆さんが3年生になるときに、開校50周年の節目を迎えます。開校当時、校歌に込められた願いは、50年近く経った今でも変わらない、不易の願いです。校歌の歌詞をよく理解し、夢と希望をもって藤中学校を巣立てるように、1日1日を過ごしてください。

藤中学校への入学にあたり、私から心がけて欲しいことを3つ話します。

1つ目は、「大人のつもりで行動すること」です。中学生になると乗り物は大人料金になります。中学校卒業後は、働くこともできます。大人になると自由が増える反面、責任も大きくなります。中学校の3年間で、社会でも通用する振る舞いを身に付けてください。

2つ目は、「言葉を大切にすること」です。私は、言葉はボールと同じと考えています。相手を取りやすいように、力やタイミングを調節することが大切です。感情的になったり、乱暴に使ったりすれば、人を傷つけてしまいます。特に、「イジリ」はいじめにつながりますから、絶対に止めましょう。

3つ目は、「時間を大切にしたい生活をする事」です。中学校では、部活動が始まり、下

校時刻も遅くなります。また、定期テストは範囲が広がりますので、日頃からしっかりと学習する習慣が大切になります。やることが増えても、1日は24時間です。時間の使い方を工夫して、中学校生活、そして卒業後の生活が充実するようにしてください。

3年生、2年生の皆さん、進級おめでとうございます。また、準備登校、ありがとうございました。手際よく取り組む姿、自分の負担が終わったら、遅れている人を手伝う姿勢、卒業式準備より格段のレベルアップが見られ嬉しく思います。これからも「仲間」を大切に、人に感動される活動をお願いします。そして2年生には、「先輩らしい行動」を、3年生には、「藤中の手本」を期待しています。

新年度の始まりにあたり、私の好きな「恩送り」という言葉を紹介します。元々は、「恩返し」と同じ意味の言葉ですが、作家の井上ひさしさんは、「誰かにしてもらった恩を、別の人に送る。そうして『恩』が世の中をぐるぐる回ってゆくこと」と話しています。卒業した先輩や去られた先生から受けた恩が襷のように受け渡され、藤中学校のよさが脈々と受け継がれていくことを期待しています。

ご家族の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。私は「中学校は社会の練習の場」と考えています。中学校は義務教育の最後であり、自立し社会で活躍するための基礎を培う場です。そのために目は離さず、手を少しずつ離すようにお願いします。特に、子どもが自分の思いや考えをしっかりと伝え、自己決定ができるようにしてください。子どもをよりよく育てるという目的は、家庭も地域も教職員も同じです。それぞれの子どもにそれぞれの個性があるように、その子に合っ

た方法もそれぞれあります。目的と手段を整理し、学校と共に見つけるようお願いいたします。

結びに、私たち教職員、一丸となり藤中学校の教育に全力で取り組んでまいりますことをお約束し、校長式辞といたします。

在校生代表のこたば

桜の花びらが静かに舞い、校庭に淡い色を添えるこの良き日に、ご入学される新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。在校生一同、心より歓迎申し上げます。

さて、今日、みなさんがこの場所に立った瞬間、校舎の空気がふっと明るくなり、桜の色までも少し濃くなったように感じました。

新しい仲間が加わるといふことは、それほど大きな力を持っているのだと、あらためて実感しています。

新しい制服に袖を通した今、胸の中にはきっと希望と不安が同時に揺れていると思ひます。未来への期待が光のように差し込む一方で、まだ見えない日々に少し不安を抱いているかもしれませう。しかし、始まってしまえば、思っているほど怖くはありません。そして、ここからが本当に伝えたいことです。

分からないことや、できないことがあっても、それは決して恥づかしいことではありません。むしろ、分からないことがある、できないことがあるといふのは、成長の伸びしろがたっぷりあるといふことです。私たちも、最初は何も分からず、何度もつまづきながら進んできました。だからこそ、みなさんが困っているとき、迷っているとき、どうか遠慮なく頼ってください。「こんなこと聞いていいのかな」と思ふような小さなことでも大丈夫です。その一歩を踏み出せる人は、必ず強くなれます。

また、藤中には、みなさんを待っている“楽しさ”が、本当にたくさんあります。学年の壁を越えて団結し、全力で盛り上がる体育祭。普段とは違ふ藤中生の新たな一面が輝く文化祭。クラスで声を重ね、絆を深め合える合唱祭。どの行事も、本気で取り組むほど心に残り、仲間との距離がぐっと近づきます。その瞬間の熱や笑顔は、きっとみなさんの中で一生の思い出になるはずです。そしてその楽しさを、藤中生みんなでお分かち合えることを、私は心から楽しみにしています。

これからの日々に、たくさんの出会いと学びが待っています。嬉しい瞬間も、悔しい瞬間も、思い通りにいかない日もあるでしょう。でも、そのすべてが、みなさんを強くし、豊かにし、未来へとつながる大切な一歩になります。

みなさんが加わってくれたことで、藤中の

景色は今日からまた新しくなります。新しいことだらけで不安もあると思ひますが、これからは“ともに”藤中生として成長していきましょう。そして、ここから始まる毎日と、一緒に積み重ねていきましょう。

新入生代表のこたば

暖かな春の日差しの中、私たち新入生は今日、藤中学校に入学することができました。このような素晴らしい式を開いてくださった先生や先輩方、本当にありがとうございます。

私たちは、小学校6年間を通して、多くの方々に支えられて、いろいろな経験をするすることができました。中学校の3年間も多くの方々に支えていただきながら、たくさんの経験をすることができるように、頑張りたいと思ひます。

そんな藤中学校で過ごす3年間を充実したものにするために、2つの目標を立てました。

1つ目は、何事にも真剣に取り組むことです。中学校では部活動や体育祭、合唱祭など様々なことが始まるため、それぞれに真剣に取り組む、目標に向かって全力で頑張りたいと思ひます。

2つ目は、自覚と責任のある中学生になることです。忘れ物を無くすことやテストでよい点を取るなど、藤中学校の生徒として、常に自分たちの行動に責任と自覚をもてるようにしたいです。

最後になりましたが、先生や先輩方、私たち新入生は、いろいろなことに本気で取り組み、挑戦していきます。ご迷惑をおかけすることもありますが、どうぞご指導宜しくお祈りいたします。

<新学期の抱負>

第2学年代表

春の訪れとともに、今日から新学期が始まりました。新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。同じ藤中生として、みんなで一緒に藤中学校をよりよくしていきましょう。

さて、皆さん、今年度の目標はもう立てましたか？私は新年度に向けて3つの目標を立てました。

1つ目は、計画に沿って勉強に取り組むことです。昨年度は自分が立てた計画に追いつけず、勉強が不足し、定期テストの目標に届きませんでした。今年度は、普段から勉強に取り組む、余裕を持って課題を終わらせられるようにしたいと思ひます。特に、苦手科目はその日教わったことの復習を行い、しっかりと頭に入るように頑張りたいです。

2つ目は、部活動に取り組む姿勢です。昨

年度は勉強に追われ、遊びに気を取られてしまい、部活動での練習に集中できていませんでした。今年度は、休みの日や空いた時間にも練習したり、試合の動画を見たりして、学んでいきたいです。後輩に対しても積極的に話しかけ、部活動全体の士気を高め、大会や試合での活躍につなげていきたいです。仲間との交流を増やしていき、連携や技術を向上させ、より強い部活動を作り上げていきたいです。

3つ目は、信頼される先輩になることです。私たち2年生は、今日から1年生を引っ張っていくという役割を担っていきます。そのため、委員会、部活動、日々の生活などで、1年生をサポートし、信頼される先輩になりたいと思っています。また、先輩として後輩の成長をサポートすると同時に、全員で力を合わせ、自分たちも成長していくことが大切です。そして、後輩たちにとって良き手本となるよう努める必要があります。そのために、行事の実行委員などの役割が増えていく中で、積極的に意見を出し合い、行動することで、より良い結果を導き出せる2年生になっていきたいです。

私は今年度、計画的な勉強、部活動に取り組む姿勢、そして先輩としての行動をすることで、自分の成長を目指していきます。みなさんも、自分の目標をしっかり立てて、成長を感じられるような素晴らしい1年にしていきたいです。

第3学年代表

桜が舞う今日、私たちは3年生、藤中学校の最高学年となります。2年間の学校生活で得た経験を糧に、今日から学年全体で意識を高め、取り組んでいきたいことを、いくつかお話したいと思います。

1つ目は、最高学年としての学校生活についてです。私たちは一人ひとりが力を持ち、周りに影響を与えることのできる集団です。行事、キャンペーンのような特別なときだけでなく、日々の学校生活からその力を発揮していくことが大切だと思います。修学旅行では各自が協力しあい、時間や周りを見て行動することができました。だからこそ、その時できていた当たり前のことを継続し、さらに一歩先を目指していける学年になれると思います。最高学年としての自覚を持ち、1、

2年生の良い模範となり学校全体をよい方向へ導いていける存在になっていきましょう。

2つ目は、勉強についてです。

みなさんは、受験生になったという感覚が、今どれくらいありますか。私は「受験生」という言葉を聞くたびに、大きなプレッシャーを感じます。初めての受験で、不安もたくさんあります。しかし、仲間と励まし合い、互いに支え合いながら、それぞれがベストを尽くしていけたらと思っています。そのためには、日々の授業への取組がとても大切だと感じています。私は昨年の1年間で、授業に積極的に参加することの大切さを学びました。学び合いの時間に班で意見を出し合ったり、日々の提出物を丁寧に積み重ねていくことが、理解を深めることにつながると感じました。そして、普段の授業への姿勢が、定期テストの結果に大きく影響するということが実感しました。これらの積み重ねが、受験に向けた大きな力になると思います。2年間、どんな瞬間も共にしてきた仲間となら、きっと受験のプレッシャーを乗り越えることができます。今から気持ちを切り替え、受験生としての意識を高めていきましょう。

3つ目は、全力で楽しめる時間を、全員でつくることです。私たちの学年は一人ひとりが特別な力を持ち、エネルギッシュなところが強みです。その溢れるエネルギーをうまく活かしながら、学校を盛り上げ、1、2年生の皆さんの手本となる存在になっていきたいです。学校行事は3年生の腕の見せ所でもあると思います。1学期にある体育祭はクラスの団結力を高めるとともに、他学年との交流も深めることのできる、大きなチャンスです。私たちはこれまで、日々の練習から当日の準備、応援、競技に全力で取り組む先輩たちの姿をたくさん見てきました。その姿から、行事に本気で向き合うことの大切さを学んできたと思います。だからこそ、今度は私たちが、先輩方から学んだ事を忘れず、全力で楽しめる行事を3年生全員でつくっていきましょう。

私たち3年生にとって一つ一つの行事、そして何気ない一日一日が中学校生活最後のものとなります。一年間、悔いのないように毎日を送っていきましょう。そして、この学年だからできることを一人ひとりが残していき、最高に楽しめる時間を仲間と過ごしていきましょう。